

銭儲け**節税**をする

1. 銭儲け節税とは

節税をすることで、長期的には資金が蓄積できるような節税方法を、『銭儲け節税』といいます。

2. 節税の多くは資金が減少する

節税方法の多くは、損金に算入することができる費用を増額することです。つまり、手元の資金が減少することが多いのです。

3. 銭失い節税は要注意

支出した費用が、長期的にみて還流してこない支出を、一般的には『死に金』といいます。

『死に金』になるような費用や設備投資は、税金を節減することができますが、手元の資金が減少します。

税金は、約50%の支出で済むことを忘れてはなりません。

『銭失い節税』をするよりも、税金を支払った方が企業の健全性が確保されるのです。

4. 銭儲け節税の事例

銭儲け節税には、次のような事例があります。

- (1) 売上高を増加させる費用
- (2) 人材獲得費用
- (3) 人財確保費用
- (4) 有用な生産設備の投資
- (5) 有用な販売施設の投資



『儲かる経営と節税の要点』 大平吉朗著
P. 221「58 経費か税金かの選択」参照
『繁栄する農業経営と節税の要点』大平吉朗著
P. 227「68 経費か税金かの選択」参照



税理士法人 大平経営会計事務所

440-0083 愛知県豊橋市下地町字横山45番地の1
TEL: (0532) 53-5333(代) FAX: (0532) 53-5118

(平成30年9月レターケース)